

2022年度

事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

# 目 次

Ⅰ 「建学の精神」について	・・・・・・・・	1
Ⅱ 理事長からのメッセージ	・・・・・・・・	1
Ⅲ 法人の概要	・・・・・・・・	2
1. 設置する学校・学部・学科等		
2. キャンパス所在地		
3. 理事・監事・評議員		
4. 学院長、学校長、学部長・学科長		
5. 入学定員、学生数等の状況		
6. 教職員の人数		
7. 学院の沿革		
Ⅳ 事業の概要	・・・・・・・・	7
1. 法人		
2. 大学・短期大学部		
3. 中学校・高等学校		
4. 大学附属こども園		
Ⅴ 財務の概要	・・・・・・・・	19
1. 2022年度の決算内容		
2. 財務状況の推移		
3. 学校法人会計の概要と用語説明		
Ⅵ 第3次中期経営計画と実績	・・・・・・・・	25
1. 2022年度実績と中期経営計画および前年度との比較		
2. 課題に対する成果		
3. 新たな課題と対応		

## I 「建学の精神」について

**知性を広げ 望みを高くし 感受性を豊かにし そして神を知らせる**

この言葉は、大阪の川口居留地で米国聖公会宣教師として活躍していたクインビー司祭が、1875（明治8）年3月20日付で本国へ書き送った手紙の中にあります。

この建学の精神は、本学院の教育の根底に流れています。キリスト教精神に基づいた教育理念であり、今日に至るまで受け継がれています。

## II 理事長からのメッセージ

「2022年度 事業報告書」がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

平安女学院においては、2022年度から今年度にかけて大きな変化がありました。約20年にわたり理事長・学院長・大学学長であった山岡景一郎が、2023年4月2日付けで辞任し、翌日付で新たな理事会体制が発足しました。

本学院においては、2021年3月の高校卒業式での理事長式辞に関わる問題にことを発し、この2年間、学院のガバナンスに関わる様々な問題が生起しました。これらは週刊誌等に報道される事態となり、特に2022年12月以降、理事長への退任要求が強まることとなりました。こうした事態を收拾すべく、2023年3月1日の臨時理事会において山岡理事長は諸役職の辞任を表明し、また理事長に毛利憲一、大学学長に谷口吉弘、学院長に高地敬を選任しました。中高校長については、今井千和世が続けて任にあたることとなりました。

本学院といたしましては、これまでの学院運営について正常でなかった点を真摯に反省するところです。そのため理事会においては、学院の組織や規程、意思決定の仕組みを見直し、また理事・評議員の増員やバランスの改善を行いました。

この間、在校生・在学生のみならず卒業生・保護者・関係者の皆様には多大な心配をおかけいたしました。この点、学院理事会を代表してお詫びを申し上げますとともに、今後、学院の民主的運営を定着させ、教員・職員が学生・生徒と向き合い、より良い教育に打ち込める職場を作り出すことが何より大切であると考えています。創立以来のキリスト教主義に基づく教育理念を再確認し、学院の社会的信用の回復に務めてまいります。

さて2022年度決算は、事業活動収支計算書の経常収支差額で86百万円を計上することができました。この数年、好決算を続けては参りましたが、年々、経常収支差額は減少しています。背景には、学生・生徒数の減少があります。特に2021年度まで好調な募集を続けてきた大学国際観光学部では、コロナ禍に影響されて入学者を大きく減らし、2023年4月の時点では大学全体の収容定員充足率が75%弱となっています。そのため2023年度以降の財務収支は、たいへん厳しくなるものと予想されます。

我が国の私学経営についても国の財政事情や少子化を背景として厳しさが増しており、とりわけ本学のような小規模な女子学院は、難しい舵取りを迫られています。

新しい学院運営体制が発足したばかりではありますが、こうした難局に対処すべく、とくに学生・生徒募集の回復に努め、引き続き健全な経営を維持していく所存です。

また2年後に創立150周年をひかえ、今後も地域社会に必要とされる学院として、教育の事業に専心していきたいと存じます。そのためにも、現在の正念場を着実に乗り越えていきたいと考えています。引き続き皆様のご支援を賜れますようお願い申し上げます。

学校法人 平安女学院  
理事長 毛利 憲一

### Ⅲ 法人の概要

#### 1. 設置する学校・学部・学科等 (2022年4月1日現在)

##### (1) 平安女学院大学

国際観光学部 国際観光学科 (京都キャンパス)

子ども教育学部 子ども教育学科 (高槻キャンパス)

##### (2) 平安女学院高等学校 (全日制課程 普通科) (京都キャンパス)

##### (3) 平安女学院中学校 (京都キャンパス)

##### (4) 平安女学院大学附属こども園 (高槻キャンパス)

#### 2. キャンパス所在地 (2022年4月1日現在)

京都キャンパス	京都府京都市上京区室町通樫木町上る武衛陣町221 代表電話 075-414-8155
高槻キャンパス	大阪府高槻市南平台五丁目81番1号 代表電話 072-693-2311

#### 3. 理事・監事・評議員 (2022年4月1日現在)

##### 〔理事〕 (5人)

理事長 山岡 景一郎 学院長、大学学長 (2023.4.2 辞任)  
常務理事 山岡 祥子 国際観光学部教授 (2023.3.20 辞任)  
理事 毛利 憲一 大学副学長、国際観光学部長 (2023.4.3 理事長就任)  
理事 関根 秀治 元(社)茶道裏千家淡交会副理事長 (2023.4.3 常務理事就任)  
理事 服部 和子 服部和子きもの学院長  
※ (2023.4.3 就任)  
常務理事 谷口 吉弘 (大学学長 2023.4.3 就任)  
常務理事 栗田 康文 (法人事務局長)  
理事 荒川 雄次 (国際観光学部教授)  
理事 高地 敬 (日本聖公会京都教区主教)

##### 〔監事〕 (2人)

監事 瀧 紘一 元 京都府亀岡地方振興局長 (2023.4.3 辞任)  
監事 北峯 功三 弁護士  
※ (2023.4.26 就任) 監事 西山 伸一 (元京都中央信用金庫常勤監事)

##### 〔評議員〕 (11人)

山岡 景一郎 理事長 (辞任) 山岡 祥子 常務理事 (辞任)  
毛利 憲一 理事 関根 秀治 理事  
服部 和子 理事 黒井 いく 国際観光学部教授  
谷口 吉弘 平安女学院大学顧問 井上 容子 附属こども園長  
戸田 貴子 大学後援会顧問 吉田 健一 学校法人職員 (辞任)  
江藤 律子 学校法人職員 (辞任)

※ (2023. 4. 3 就任)

荒川 雄次	理事	栗田 康文	理事
高地 敬	理事	松尾 光洋	子ども教育学部長
藤井 康幸	学校法人職員	君島 茂	元子ども教育学部教授

大岡 左代子 日本聖公会司祭

※ (2023. 4. 26 就任) 磯野 眞紀子 元短期大学部長

#### 4. 学院長、学校長、学部長

(2022 年 4 月 1 日現在)

〔学院長〕

山岡 景一郎 (2023. 4. 2 辞任、2023. 4. 3 就任 高地 敬)

〔平安女学院大学〕

学 長 山岡 景一郎 (2023. 4. 2 辞任、4. 3 就任 谷口 吉弘)

副学長 毛利 憲一

国際観光学部長 毛利 憲一 (2023. 4. 2 退任、4. 3 就任 黒井 いく)

子ども教育学部長 松尾 光洋

〔平安女学院中学校高等学校〕

校 長 今井 千和世

〔平安女学院大学附属こども園〕

園 長 井上 容子

#### 5. 入学定員、学生数等の状況

(2022年5月1日現在)

##### (1) 平安女学院大学

(単位：人、%)

学 部	学 科	入学定員	収容定員※	在学学生数					収容定員充足率
				1年	2年	3年	4年	計	
国際観光学部	国際観光学科	110	440	54	76	135	132	397	90.2
子ども教育学部	子ども教育学科	70	300	51	75	52	52	230	76.7
総 計		180	740	105	151	187	184	627	84.7

※ 2020 年度入学定員変更…国際観光学科 90 人→110 人、子ども教育学科 90 人→70 人  
国際観光学部は編入学定員 20 人を含む。

##### (2) 収容定員充足率

(毎年度 5 月 1 日現在)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
大学	72.7	78.2	87.3	90.3	84.7
短期大学部	67.5	72.5	70.0	57.5	—

※短期大学部は 2020 年度募集停止、2021 年 3 月廃止

##### (3) 平安女学院高等学校

(単位：人)

入学定員	収容定員	在学学生数			
		1年	2年	3年	計
320	960	149	141	164	454

(4) 平安女学院中学校

(単位：人)

入学定員	収容定員	在學生数			
		1年	2年	3年	計
160	480	48	90	52	190

(5) 平安女学院大学附属こども園

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	6	12	12	35	35	35	135
在園児数	4	12	12	35	35	35	133

※0・1・2歳児定員は3号のみ、3・4・5歳児定員は1号が各23名、2号が各12名

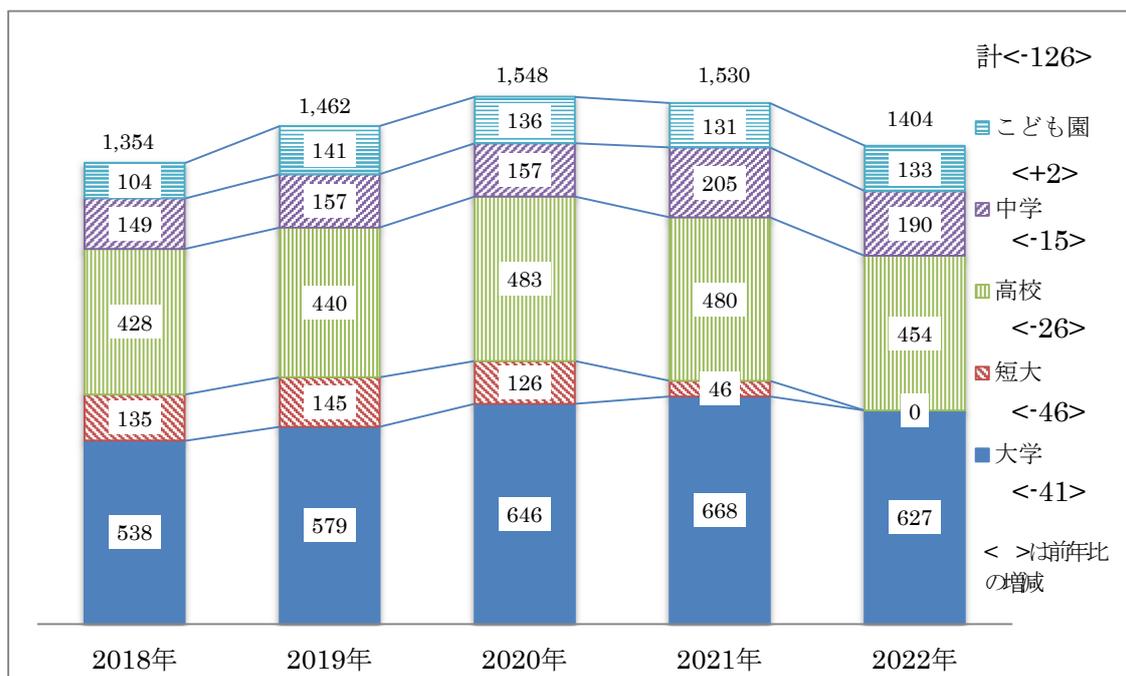
(6) 平安女学院 学生・生徒・園児総数・新入生総数

(単位：人)

		学生・生徒・園児数 ( ) 内は「新入生数」			参考
		2021年5月1日 現在	2022年5月1日 現在	年間増減	2023年5月1日 現在
大 学	国際観光学部	419(76)	397(54)	-22(-22)	321(40)
	子ども教育学部	249(75)	230(51)	-19(-24)	230(55)
	計	668(151)	627(105)	-41(-46)	551(95)
短 期 大 学 部		46(0)	—	-46	2022年3月廃止
平安女学院高等学校		480(144)	454(146)	-26(-2)	414(132)
平安女学院中学校		205(90)	190(48)	-15(-42)	187(49)
大学附属こども園		131	133	+2	133
在學生総数		1,530(385)	1,404(299)	-126(-86)	1,285(276)

(7) 平安女学院 学生・生徒・園児総数の推移

(単位：人)



※2019年度幼稚園から「幼保連携型認定こども園」に転換、2021年3月短期大学部廃止

## 6. 教職員の人数

(2022年5月1日現在)

### (1) 教 員

平安女学院大学 ( ) 内は、特任教員内数 (単位：人)

区 分	専任(特任)					非常勤講師	合 計
	教授	准教授	講師	助教	計		
国際観光学部	15( 8)	1( 0)	1( 0)	4( 0)	21( 8)	18	39
子ども教育学部	7( 1)	5( 1)	3( 2)	5( 1)	20( 5)	26	46
大学計	22( 9)	6( 1)	4( 2)	9( 1)	41(13)	44	85

平安女学院高等学校 (単位：人)

区 分	専 任							非常勤講師	合 計
	学校長	副校長	教頭	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	1	1 ※	1	22	1	7	33	33	66

※出向受入

平安女学院中学校 (単位：人)

区 分	専 任							非常勤講師	合 計
	学校長	副校長	教頭	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	0	0	1	10	0	1	12	8	20

※学校長は中学校・高等学校兼務

平安女学院大学附属こども園 (単位：人)

区 分	専 任				兼 務	合 計
	園長	教諭	嘱託	計		
全 園	1	12	4	17	20	37

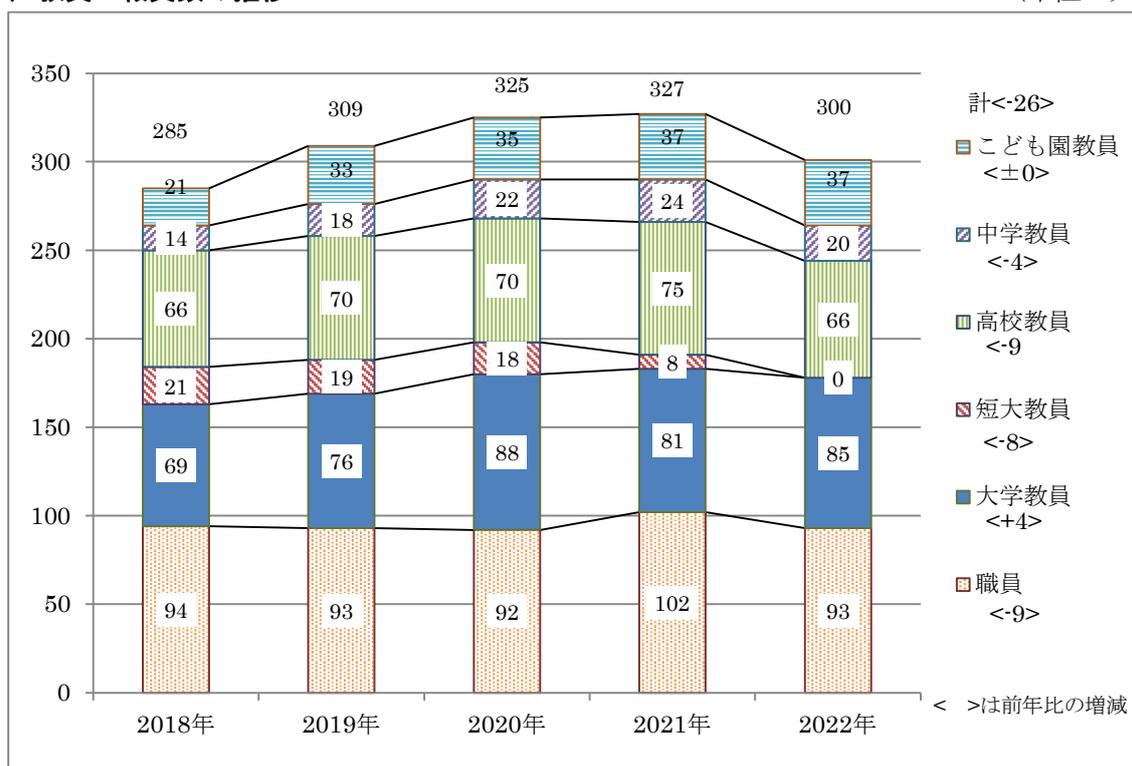
### (2) 職 員

(単位：人)

区 分	法人	大学	中学高校	こども園	合 計
専任職員	8	17	6	1	32
嘱 託	12	13	8	0	33
契約職員	0	0	0	0	0
パートタイマー	1	24	2	1	28
計	21	54	16	2	93

### (3) 教員・職員数の推移

(単位：人)



## 7. 学院の沿革

- 1875年 9月 米国聖公会宣教師ミス・エレン・G・エディが、大阪の川口にあつた居留地内に「エディの学校」を設立、生徒3名
- 1880年 4月 学校名を聖書の言葉から「照暗女学校」(英語名St.Agne's School)と改称
- 1894年11月 学校名を「平安女学院」と改め、翌年4月の京都での開校を決定
- 1895年 6月 新校舎(現「明治館」)が落成
- 〃 9月 始業式。9月に新生徒12名が加わり、生徒20名
- 1915年 4月 「聖三一幼稚園」を開設
- 1947年 4月 新たな六三制教育制度のスタートに合わせ、「平安女学院中学校」を設置
- 1948年 4月 「平安女学院高等学校」を設置
- 1950年 4月 「平安女学院短期大学」を開学
- 1966年 4月 聖三一幼稚園を「平安女学院幼稚園」に改称
- 1987年 4月 短期大学、幼稚園を大阪府高槻市南平台に新設した高槻キャンパスに移転
- 2000年 4月 創立125周年を機に「平安女学院大学」を滋賀県守山市にて開学
- 2002年 4月 短期大学を「平安女学院大学短期大学部」に改称
- 2005年 4月 高槻キャンパスにびわ湖守山キャンパスを統合
- 2007年 4月 研究環境を考慮し、「国際観光学部」を京都キャンパスに開設
- 〃 幼稚園を大学の附属とし、「平安女学院大学附属幼稚園」に改称
- 2008年 8月 旧京都地方裁判所所長官舎(2,148㎡)を大学施設として取得(現「有栖館」)
- 2009年 4月 大学「生活福祉学部」の募集を停止し、新たに「子ども学部」を開設
- 2014年 4月 高等学校に「幼児教育進学コース」開設
- 2015年 4月 大学「子ども学部」を「子ども教育学部」に名称変更
- 2019年 3月 「平安女学院大学附属幼稚園」を廃止
- 2019年 4月 「平安女学院大学附属こども園」を開設
- 2021年 4月 短期大学部保育科の募集を停止
- 2022年 3月 「平安女学院大学短期大学部」を廃止

## IV 事業の概要

### 1. 法人

#### (1) 寄附金募集事業…

《2022年度 寄附金(募金)額と前年比》

(単位：件、円)

	寄付内訳	2022年度寄付金累計		前年度対比	
		件数	金額	件数	前年度比
一般寄付 金収入	学院振興寄付(一般)	2	140,000	-4	-315,344
	教育研究強化事業	43	2,409,000	-8	-618,000
特別寄付 金収入	明治館・有栖館見学者寄付	3	224,100	3	224,100
	奨学金のため	125	375,000	-97	-292,000
	中高教育設備支援寄付	65	2,553,000	-29	-1,220,000
	その他特別寄付金収入	6	3,978,891	2	-450,142
合 計		244	9,679,991	-133	-2,671,386
現 物 寄 付		10	2,444,843	-2	-462,221

#### (2) 学債の発行

##### ア. 学債の発行・残高状況

(単位：件、千円)

	件数	金額
2022年3月末学債残高	260	828,400
2022年度の学債発行	41	114,000
2022年度の学債償還	79	236,800
期末学債残高(2023年3月末)	222	705,600

※2023年度の学債償還	87件	283,400千円
2024年度	12件	42,900千円
2025年度	26件	89,400千円
2026年度	60件	197,400千円
2027年度	7件	11,000千円
2028年度	30件	81,500千円

##### イ. 期末残高・件数(単位：件、千円)

	件数	金額
2013年度末	2	15,200
2014年度末	189	580,300
2015年度末	198	603,900
2016年度末	281	820,900
2017年度末	296	879,100
2018年度末	303	917,400
2019年度末	295	927,500
2020年度末	261	834,000
2021年度末	260	828,400
2022年度末	222	705,600

#### イ. 期末(2023年3月末)における学債申込者内訳

(単位：件、千円)

	件数	残高金額
理事・評議員・教職員等	19	39,500
大学在校生・保護者・保護者親戚	42	121,300
卒業生・校友会等	161	544,800
合計	222	705,600

#### ウ. 募集金利

(単位：%)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
3年物	0.80	0.60	0.40	0.40	0.15	0.15	0.15	0.20
6年物	1.20	1.00	0.60	0.80	0.30	0.30	0.30	0.40

## 2. 大学・短期大学部

### (2) 主な教育活動

#### ア. 大学 国際観光学部

##### (ア) 教育のポイント

2020年初頭から始まったコロナ禍の対応として、殆どの科目を10時10分開始のⅡ講時以降に配する時間割で授業を行うことを継続しました。そうした状況下ですが、感染症対策に注意しながら海外留学や遠方への国内フィールドワークの他、修学旅行ガイドなど「京都」という土地柄を活かした学びを展開しました。

なお、「観光・京都学コース」「外国語特修コース」に加えて、ホスピタリティ・マインドを身につけ、ブランディングや起業について学ぶ「ホスピタリティ・ビジネスコース」を設置しました。また、「韓国現代プログラム」をスタートさせました。

##### (イ) 主な教育活動内容

###### a. 海外留学

2022年2月下旬～4月下旬にかけて、アメリカに7名・カナダに6名・台湾に2名の学生が語学留学に出発、渡航後にコロナ禍でホームステイが出来ないことが分かり転校する学生もありましたが、2022年12月から無事に順次帰国しました。留学期間を延長したり、自力でニューヨーク観光を行うなど意欲が窺われます。

2023年2月上旬から4月上旬にかけては2022年度生が出発し、アメリカで3名、カナダで2名、オーストラリアで1名が語学留学に取り組んでいます。

###### b. 国内フィールドワーク

コロナ禍で3年ぶりの催行となりました。今回は九州と東北の2方面に別れ、合わせて90名が参加しました。なお、観光地だけでなく雲仙普賢岳の噴火・熊本地震・東日本大震災と福島原発事故など災害に関わる地も訪れ、その脅威を再認識しました。

- ・九州方面（長崎市内、島原・天草、阿蘇、熊本市内、大宰府）

- 9月5日(月)～11日(日)、学生46名、教員2名

- ・東北方面（東京、磐城、福島、津軽半島、白神山地、函館、仙台）

- 9月4日(日)～10日(土)、学生40名、教員2名

###### c. 修学旅行ガイドほか

5～6月に中学校4校の修学旅行ガイドを2・3年生が担いました。10月・12月には奈良への引率も行ない、京都市・大学コンソーシアム京都・JTBで展開する「B&Sプログラム」には223名が参加しました。

また、NPO法人都草・四条大船鉾保存会と連携し、ちまき作り（9名）と後祭り宵山期間でのちまき授与（約50名）に参加、協定校である大阪高校の生徒も浴衣がけで見学に訪れました。

###### d. 京都府・京都市の学生生活支援補助金の活用

物価高騰や長期化するコロナ禍等の影響を受けている学生を支援として、京都府及び京都市から補助金を受けて次の事業を行いました。

- ・自宅外通学生の生活支援…一人あたり14,000円

- ・テキスト（教科書）及び卒論等資料の購入補助…一人あたり2,500円

- ・エディ・カフェ食券セット配布…一人あたり1,300円

- ・その他、抗原検査キット購入、学生交流イベントに支出しました。

## イ. 大学 子ども教育学部

### (ア) 教育のポイント

本学部は、子どもの成長と学びをサポートできる教諭・保育士を養成するために2つのコースがあり、「子ども保育コース」では保育士・幼稚園教諭を、「子ども教育コース」では小学校教諭を目指すことができます。後者には中学校教諭(英語)を目指す「英語専修」と公認心理師(受験資格)または認定心理士を目指す「心理専修」を併設しています。

### (イ) 主な教育活動内容

- a. 授業は、教員がコロナ陽性か濃厚接触者の場合のみ遠隔授業とし、通常は対面授業を行いました。各種実習は、コロナ禍の影響で中止や延期があったり、前年度から繰越しされた実習もありましたが、実習園校・実習施設の多大なご協力のもと、概ね予定通り実施できました。1年次生・2年次生の体験実習も通常通りに実施することができました。

実習種別	学年	実習期間
教育実習 a (幼稚園)	4年	6月1日～6月28日
教育実習 b (小学校)	3年	8月29日～9月27日 (一部延期あり)
教育実習 c (中学校)	4年	5月30日～7月8日 (期間内の15日間)
保育実習 I b (保育所)	3・4年	9月5日～9月16日
保育実習 II	3・4年	11月7日～11月18日
保育実習 I a (施設)	2・3年	2023年2月13日～3月31日 (期間内の10～11日間)
体験実習 a I	1年	10月～12月に週1回1日8週間
体験実習 a II	2年	8月29日～9月2日、(幼稚園のみ) 9月5日～9日

- b. 「教職実践演習」では、授業の一環として、平女祭(10月29日(土))で「子どもコーナー：絵本の読み聞かせ」を開催しました。乳児向け、3、4歳児向け、4、5歳児向け、英語版のプログラムを用意し、約100組の親子連れに楽しんでもらいました。
- c. 後援会の助成金を得て、学長を塾長とする「アグネス塾」を開催しました。公立学校教員・保育士の合格を目指す補習教育の場であり、教師として求められる資質や実践的な指導力を育成する場となっています。5月から講義・小論文対策・思考判断力など全8講座 50コマと人物対策面接指導を行いました。

講座名	担当者	参加家族
アーセン先生とサンタークロスに手紙を書こう 赤鼻のトナカイのほんとうのお話を楽しもう	Arsen 野島	31組
クリスマスの飾りをつくろう	伊藤	32組
クリスマスカードや指人形をつくろう	佐藤	39組

- d. 小学校教員・公立保育職の採用試験対策として「アグネス塾」を、後援会の助成金を得て開催しました。教師として求められる資質や実践的な指導力を育成する場となっています。5月から最終2月までに筆答対策(教職教養・思考判断力・小論文)、面接対策、実技対策など全190回の講座を開講し、多くの合格者を輩出しました。

### (ウ) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナ感染症対策は前年度から継続し、学内での感染拡大防止に努めました。また発熱等の感染疑いがある場合の対応マニュアルを簡素化して、公欠課題に関するルールも分か

りやすくして、無理せず自宅療養して公欠課題に対応できるようにして学修機会を損なうことなく、学内でのクラスターの発生をおさえることができました。

## (2) 地域連携、産官学連携、国際交流

### ア. 高槻市地域子育て支援拠点事業ひろば型「どんぐりの森」(2022年度)

(単位：日、人)

月	開館日数	利用者(子供)	月	開館日数	利用者(子供)
4	20	101	10	20	159
5	19	90	11	20	180
6	20	129	12	20	217
7	20	143	1	19	170
8	22	130	2	19	183
9	20	163	3	22	205

### イ. 京都モダン建築祭

11月11日(金)～13日(日)、京都に現存する魅力的なモダン建築を一斉に公開するプロジェクト「京都モダン建築祭」に参加しました。明治館、室町館(一部)と聖アグネス教会を公開、3年のゼミ生が準備とガイドツアーなど当日の運営を担いました。

### ウ. 奈良県五條市との地域連携協定

4月19日(火)に本学と奈良県五條市が地域連携協定を締結しました。10月4日(火)に柿農家の方2名が来校して国際観光学部で授業を行い、10月23日(日)の大学祭では五條市の柿ブースを設けました。11月13日(日)、20日(日)の五條市のイベントに学生が参加し、柿の販売のお手伝いと大学のPR、連携協定の説明を行いました。

### エ. クリスマス行事、イルミネーション

12月5日(月)、高槻キャンパスではクリスマス・カンタータに代わる「学生の歌と朗読でむかえるクリスマス」、イルミネーションの点灯式を行いました。「Bloom ー光が導く希望の花園ー」をテーマとし、キャンパス内に花をモチーフにしたオブジェなどで、キャンパスのメインストリートとバス停付近を彩りました。京都キャンパスのテーマは「Ho! Ho! Ho! Merry Christmas ～煌めく光で輝く笑顔を～」、11月25日に点灯式を行いました。また、京都市、三菱自動車工業株式会社、三菱自動車販売株式会社の協力を得て、12月16日(金)～18日(日)の3日間を太陽光でつくった再エネ100%の電気だけでイルミネーションを灯しました。

### エ. その他

子ども教育学部では5月に開催された高槻ジャズストリートにボランティアとして参加し、バスツアーを担当しました。

また、8月6日(土)・7日(日)に開催された高槻まつりでは、バルーンアートや射的ゲームなど子どもたちが遊べるブースを運営しました。3年ぶりに開催された高槻マラソンにもボランティアとして参加しました。

橿原市観光協会と合同で橿原市に若者の観光客を呼び込むための企画作りに取り組んできた国際観光学部のゼミ生が10月12日(水)に橿原市を訪れ、コミュニティーラジオ「FMヤマト」に出演、観光施策の企画内容について紹介しました。

また、亀田市長との対談では若者の興味を引くようなイベントや施策、SNSや動画、インフルエンサーを活用したPR方法などを提案、亀田市長からもフィードバックをいただきました。

### (3) 就職支援・卒業後の状況（就職・進学）

#### ア. 2022 年度進路実績

(単位：人、%)

学科	卒業者数 (a) ※	就職 希望者数 (b)	就職者数 (c)	未内定数 (b)-(c)	就職率 (c)/(a)
国際観光学部	114	106	105	1	92.1
子ども教育学部	48	45	45	0	93.8
大学合計	162	151	150	1	92.6

※卒業者数には、留年卒業・春学期卒業生を含む（国際観光学部 5 人、子ども教育学部 1 人）

#### イ. 就職状況

本学では、教員・職員が各学生の進路希望や適性を個別に把握し、多様な学生に適した支援を提供するために、全学的な支援体制を整えています。

また、各学部・学科の特性に合わせた進路ガイダンスや就職講座、試験対策講座など、多彩なプログラムを提供しています。さらに、コロナ禍でオンラインでの選考が進んだことを踏まえ、対面支援に加えて、オンライン相談などの WEB 利用機能も充実させており、個人の希望に合わせた支援を継続しています。

##### (ア) 国際観光学部

観光業を中心としたサービス業界の採用環境が回復傾向となり採用需要が高まる中、ホテル、メーカー、金融、専門商社、物流、空港サービスなど幅広い業界で、優良企業に数多く就職決定となりました。

##### (イ) 子ども教育学部

小学校教員は 6 名（小学校採用試験合格延べ人数 10 名／大阪府 2 名・大阪市 2 名・京都市 1 名・滋賀県 2 名・長崎県 1 名・川崎市 2 名）、4 名（大阪府 3 名、京都市 1 名）が講師となりました。公立保育職は、高槻市 2 名、茨木市 1 名、豊中市 1 名、守山市 2 名の計 6 名が合格、他に私立保育職、企業に就職決定しました。

### (4) 現状の課題と今後の取り組み

#### ア. 学生募集と大学の維持・発展について

2020 年 4 月に始まった高等教育の修学支援新制度は、私立学校にとって重要なファクターであり、機関要件のうち省令で定める基準「大学等の経営基盤関係」の内、「収容定員充足率 8 割以上」が大きな課題です。

2023 年度時点での直近 3 か年は、以下に示す通り、2023 年度の収容定員充足率は 75% であり、8 割を割る結果となりました。

2024 年度からの機関要件見直しでは、直近 3 か年すべての収容定員充足率が 8 割以上であることが求められており、機関要件を満たせず高等教育の修学支援新制度から外れるところ

です。

ただし、「直近の収容定員充足率が5割未満」に該当しない場合には、「直近の進学・就職率が9割を超える場合は、確認取消を猶予する」との規定があります。2022年度は卒業生162名に対して就職決定者150名、決定率92.6%と基準をクリアしていますが、修学支援新制度の適用を受けるためには引き続き2023年度卒業生の進学・就職率が9割を超える必要があります。

2023年度入学生の減少の影響は少なくなく、もし授業料等減免制度が受けられなくなれば、高校生及び保護者から進学先に選ばれず、学生募集は大きな打撃を受けて大学としての存続が危ぶまれる事態となります。この課題は今後4年間にわたって影響を及ぼすことになります。

	学生数(人)	収容定員(人)	充足率(%)
2021年度	668	740	90.3
2022年度	627	740	84.7
2023年度	551	740	74.5

※学生数は、5月1日現在

このように学生募集は喫緊の課題であることは誰の目にも明らかで、新体制の下で、大学執行部会議や募集会議、学部教授会において具体的かつ前向きな論議を行い、最善の策を確実に実行していくことが求められます。

2023年度の卒業年次生は、197名、翌2024年度の収容定員充足率8割以上を目指すためには両学部とも定員の約1.2倍の新生と2023年度と同様に13名程度の編入生が必要となります。

2023年度の新入生は95名に留まっており、この数字は現実的ではなく2024年と2025年度の複数年度にわたり入学者の回復を目指す必要があります。

ところで、新生及び編入生の募集に関する問題を考えてきましたが、高等教育の修学支援新制度は収容定員に対する充足率であることから、「退学者の抑制」についても対策を講じなければなりません。早めの多欠者調査が行われていますが、不本意入学や就学意欲が低い学生に向けて、カリキュラム及び履修指導の面での工夫が必要です。

また、収容定員充足率8割以上を満たすまでは、卒業生に対する就職・進学決定率9割は必達です。本学入学までに様々な困難を抱えてきた学生や留学生など、難しい対応を求められることが予想され、就職活動支援の強化も課題です。

## (5) 資料編

### ア. 卒業生数 (2023年3月31日現在)

(単位：人、%)

学科	2019年度 入学者数	卒業生		留年者		中途退学者	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
国際観光学科	129	109	84.5	13	10.1	7	5.4
子ども教育学科	54	47	87.0	2	3.7	5	9.3
大学計	183	156	85.2	15	8.2	12	6.6

※国際観光学科の2019年度入学者には2021年4月の編入学者14名を含む。

※子ども教育学科の2019年度入学者には2021年4月の編入学者1名を含む。

### イ. 免許・資格等取得者数 (2023年3月31日現在)

子ども教育学部子ども教育学科

(単位：人)

幼稚園教諭一種免許状	小学校教諭一種免許状	中学校教諭一種免許状	保育士資格
40	29	7	34

### ウ. 授業料・入学金等 (2022年4月1日現在)

入学金	(入学時のみ)	250,000円
授業料	(年額)	980,000円
教育充実費	(1年次年額)	170,000円
	(2年次以降年額)	280,000円
入学検定料		30,000円
	センター試験利用型	5,000円
休学在籍料	(1年休学)	60,000円
	(半年休学)	30,000円

### 3. 中学校・高等学校

#### (1) 中高の現況と概要

新学習指導要領と生徒指導提要が改定され、従来の学校教育の転換が求められるなか、中高では、学校5日制・部活動改革・心得（校則）改定・コース合同授業形態導入など教職員の働き方改革も視野に入れながら、人権・多様性・18歳成人、学びの質の転換を意識した改革を推進する年度でしたが、理事長による中高人事の干渉により、いったん決定していたカリキュラムなどが大幅に変更されるなど混乱を招きました。

また、不安定かつ未経験者による教育活動が、チーム学校としての機能を停滞させ、生徒のメンタルサポートに問題が生じました。学院の混乱が、いかに教育への影響が大きかったかを痛感した2022年度です。

同時に混乱を終息するための生徒・保護者の心意気に触れることができ、改めて「愛される学校」づくりへの教職員の意気込みも確認できた年度でした。今後は混乱時に教訓となった点を生かしながら、少子化・共学志向の中で、教育理念に基づいた政策を掲げ生徒確保に尽力することが求められます。（文責：校長 今井 千和世）

#### (2) 主な教育活動

##### ア. 主な行事

(ア) 体育祭 2022年5月26日(木)

3年ぶりに開催しました。中学校、高等学校別々の開催でしたが、500名を超える保護者の来場がありました。

(イ) 人権学習会 9月29日(木)

2022年度の人権教育のテーマ「多様性の尊重と共生」について、在日大韓基督教会牧師許伯基氏の講演動画を視聴しました。

(ウ) 文化祭 9月22日(木)～23日(金)

3年ぶりに開催しました。中学、高校生徒会が企画、運営し、クラスごとの演劇や発表、教科、クラブの展示、卒業生の講演等を行いました。

(エ) ビブリオバトル大会

中学：10月6日(木)、高校2年：10月20日(木)、高校1年：10月27日(木)

(オ) 収穫感謝礼拝 11月17日(木)

神の恵みによって、いのちが与えられ、今食べることができ、生かされていることに感謝しました。

また、校内外に食品提供を呼びかけ、大量の食品を子ども食堂やホームレス支援団体に寄付することができました。

(カ) 第89回クリスマス・カンタータ 12月16日(金)

今年度は授業での取り組みでなく、生徒有志が主体となって企画、運営を行いました。感染症対策として3部制にし、保護者の来校は高校3年のみとしました。

##### イ. 修学旅行・研修旅行

(ア) 中学3年研修旅行 10月25日(火)～28日(金)

長崎、熊本に行き、現地での体験や見聞を通して、平和、防災、人権について学びました。

(イ) 高校2年修学旅行 11月6日(日)～10日(木)

信州方面にて、戦争及び平和の学びを深め、清泉寮での体験を通じて、自然の豊かさを学びました。

(ウ) 高校3年修学旅行 2023年2月20日(月)～22日(水)

コロナ禍により昨年度修学旅行が中止となったため、卒業前にディズニーランドや鎌倉に行き、かけがえのない思い出を作ることができました。

## ウ. 中学校行事

7月14日(木)中学人権学習会、2023年1月26日(木)ライムタイムカルタ大会、2023年2月18日(土)アカデミックプレゼンテーションなど、中学校独自の行事を行いました。

## エ. 姉妹校交流（隔年で訪問・受入を実施）・学校間交流

コロナ禍のため、2022年度も姉妹校の来校・訪問による交流はできませんでしたが、ビデオレターなどで交流を行いました。

ドイツのフローナウ校とはメールでの文通を生徒間で行い、姉妹校締結を目指しています。

## オ. ジュニア教室（英語・体操）

小学生対象のジュニア教室を開催しました。会員登録者数は英語33人・新体操47人です(2023年3月集計)。当該教室受講者のうち2023年度中学校進学者は6人(英語6人)でした。

## (3) 進路について

ア. 立命館進学コースの82人が立命館大学・立命館アジア太平洋大学へ進学しました。

イ. 平安女学院大学への進学者は33人でした(国際観光学部4人、子ども教育学部29人)。

## (4) 現状の課題・これからの取組み

ア. キリスト教学校の使命「愛と平和の実践者」を土台にすえながら、持続可能な開発目標を実現できる能力を養う教育を推進する上での、スクールポリシー・スクールビジョンを明確にします。

イ. 立命館コース募集(2024年度高校10名以内)の先行き不安定を見越し、安定的な生徒確保に向けた新提案を行いながら、中学55名、高校150名の入学者確保に向けた募集活動の工夫を図ります。

ウ. 方針で提示した実践を確実に推進させるための研修や手立てを講じます。取り分け授業の改善と生徒把握に重点を置きながら、3つの力の育成とSDGsの実践を推進させます。

エ. 教育条件の向上に向け、教職員の労働条件の改善を図り、より優れた教育内容を達成できる環境を作ります。

(5) 資料編

ア. 卒業生数 (2022年3月31日)

高等学校コース	3年	
	クラス数	人数
アグネス国際進学	2	44
エキスパート特進		8
立命館進学	3	83
幼児教育進学	1	28
合 計	6	163

中学校コース	3年	
	クラス数	人数
グローバル・ステップ	2	22
立命館・ステップ		30
合 計	2	52

イ. 卒業生の進路一覧 (2022年3月31日現在)

高等学校 進 路		コース				計
		アグ ネス	E S	立命館	幼児 教育	
進 学	大 学	41	7	83	27	158
	短期大学	0	0	0	1	1
	専門学校	2	1	0	0	3
就 職		0	0	0	0	0
そ の 他		1	0	0	0	1
合 計		44	8	83	28	163

中 学 校 進 路		人数
進 学	平安女学院高校	45
	他 高校	7
	その他	0
合 計		52

(高等学校) 主な合格大学

大学	大学	大学
平安女学院大学	龍谷大学	京都精華大学
立命館大学	佛教大学	京都橘大学
立命館アジア太平洋大学	京都産業大学	京都文教大学
同志社大学	大谷大学	京都ノートルダム女子大学
関西大学	京都外国語大学	神戸女学院大学
関西学院大学	京都看護大学	甲南女子大学
京都女子大学	京都光華女子大学	梅花女子大学
同志社女子大学	京都先端科学大学	日本女子体育大学

ウ. 生徒納付金 (2022年4月1日現在)

種別	中学校	高等学校	備考
入 学 金	100,000 円	100,000 円	入学時
施 設 費	20,000 円	20,000 円	
授 業 料	580,000 円	580,000 円	1～3年次年額
教育充実費	175,000 円	175,000 円	

## 4. 大学附属こども園

### (1) 現状と概要

幼保連携型認定こども園に移行して4年が経ちました。

#### ア. 定員と実員

2022年3月末現在、( )内は定員(単位:人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
1号認定	—	—	—	23 (23)	23 (23)	23 (23)	69 (69)
2号認定	—	—	—	12 (12)	12 (12)	12 (12)	36 (36)
3号認定	6 (6)	12 (12)	12 (12)	—	—	—	30 (30)
合計	6 (6)	12 (12)	12 (12)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	135 (135)

#### イ. 保育・教育時間

	1号認定	2号認定	3号認定
開園時間	7:30~19:00		
教育時間	月・火・木・金	9:00~13:30	—
	水	9:00~11:30	—
保育標準時間 (11時間利用)	—	7:30~18:30 ※18:30以降は延長保育利用	
保育短時間 (8時間利用)	—	8:00~16:00 } この中で選択 8:30~16:30 } 9:00~17:00 } ※選択時間以外は延長保育利用	
休日	土・日・祝・長期休業日 (春・夏・冬休み) 年未年始	日・祝・年末年始	

#### ウ. 保育・教育内容

幼保連携型認定こども園教育要領に則り、本学の建学の精神であるキリスト教を基本として、乳幼児の健やかな成長を願い、遊びと生活を通して、乳幼児期にふさわしい体験が豊富にできるように、保育・教育を行っています。

#### エ. 行事

- (ア) 入園式…2022年4月2日(土)に附属こども園リズム室にて入園式を行いました。
- (イ) 誕生日会…乳児は月毎に、幼児は3か月に一度実施し、お祝いしました。
- (ウ) 運動会…10月8日(土)に大学グラウンドで、全園児が集い運動会を行いました。
- (エ) デイキャンプ…7月21日(木)に5歳児が園内で行ないました。
- (オ) クリスマス礼拝…12月10日(土)5歳児がページェントを、12日(月)にはサンタクロースを招いて祝会、同日夕方に燭火礼拝及びキャロリングを行いました。
- (カ) 卒園式…2023年3月18日(土)に大学体育館にて卒園式を行いました。

**オ. 給食**…業務委託した業者が園内厨房で調理した給食を摂っています。

#### カ. 新型コロナウイルス対策

- (ア) 教職員及び園児の体調管理や園内設備遊具の消毒などを定期的に行っています。
- (イ) 園内数か所にCO<sub>2</sub>モニターを設置し、換気状況を確認しています。
- (ウ) 給食時、幼児は飛沫防止の為パーテーションを使用し、乳児は対面で食べないよう座席を工夫しています。
- (エ) 新型コロナウイルス陽性者発生時は、高槻市の指導のもと、学級閉鎖をしました。

## (2) 地域交流と子育て支援

- ア. 高槻アート博覧会…高槻アート博覧会巨大絵画アーケード展に「みんなのヒーローみ・ん・な！」というテーマで出展しました。
- イ. 未就園児親子登園クラス(てんしぐみ)…5組ずつの親子(計15組)が隔週水・金曜日に登園しました。(料金:入会金3,000円、会費1回500円)
- ウ. 高槻市立第九中学校より、職業学習体験の生徒2名を受け入れました。

## (3) 大学・高校との交流

実習生…子ども教育学科より実習及びインターンシップ、平安女学院高校幼児教育コースより実習生を受け入れました。

## (4) 園外保育

遠足…2022年5月9日(月)に萩谷総合公園へ、10月24日(月)に万博記念公園自然文化園へ出かけました。

(5) 預かり保育…2022年度は、年間延べ3,184人が利用しました。

## (6) 今後の課題・これから取り組む事業の概要

子どもたちや保護者が安心できる場所となるように環境整備の検討を継続して進めていきます。主に、幼児園庭大型遊具を老朽化に伴い新設しました。

## (7) 資料編

### ア. 保育料

入園事務手数料	25,000円(1号・2号)
入園検定料	7,000円(1号)
保育料(月額)	高槻市の定める保育料(1号・2号は無償)
特定保育料(月額)	5,000円(1号・2号)

### イ. 給食費

認定区分	主食費	副食費	備考
1号認定子ども	1,760円/月	4,000円/月	8月含む
2号認定子ども	2,000円/月	4,500円/月	—
3号認定子ども	—	—	保育料に含む

### ウ. 預かり保育料

1時間300円、月極利用17,000円(8月のみ22,000円)

### エ. 保護者への補助金

保育料は、1号・2号無償、3号は住民税非課税世帯のみ無償です。また、年収360万円未満相当世帯・小学3年生までの第3子以降の子については、副食費が免除されます。なお、新2号認定を受けた場合は、預かり保育料1日450円(最大11,300円)まで無償です。

## V 財務の概要

### 1. 2022年度の決算内容

(1) 「事業活動収支計算書」(表1) …企業会計では「損益計算書」に該当します。

**ア. 教育活動収支差額…101百万円(前期比△98百万円)の黒字です。**

(ア) 教育活動収入は2,044百万円で前期比△122百万円減少しました。

a. 教育活動収入の63%を占める「学生生徒等納付金」は、1,295百万円(前期比△158百万円)となりました。これは学生生徒数が1,404人(前期比△126人)となったためです。

b. 教育活動収入の30%を占める「経常費等補助金」が、603百万円(前期比△5百万円)となりました。内、就学支援金の補助金が59百万円含まれています。

(イ) 教育活動支出は、1,943百万円で前期比△23百万円減少しました。

a. 人件費は1,083百万円で前期比△22百万円の減少となりました。

退職金を除く、教職員の人件費が1,018百万円と前期比△55百万円減少したことが影響しています。

b. 教育研究費は、644百万円で前期比△7百万円の減少となりました。

既存奨学金の減少と新型コロナウイルス感染症の影響による海外留学が引き続き低位であったこともあり、奨学費が187百万円(前期比△17百万円)となりましたが、光熱水費が前年比12百万円増加しています。

**イ. 教育活動外収支差額・・・△15百万円の赤字(前期比2百万円改善)です。**

「借入金等利息」は、金融機関借入利息と学債利息です。

**ウ. 経常収支差額・・・経常的な収支状況を表し、86百万円の黒字です。**

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した額で、学校法人の運営状況を示す基本指標となります。

**エ. 特別収支差額・・・臨時的な収支状況を表し、35百万円の黒字です。**

前期損益修正分39百万円、資産除去損4百万円となっています。

**オ. 基本金組入前当年度収支差額…121百万円(前期比△67百万円の減少)の黒字**

**カ. 基本金組入額…本年度の組入額合計は217百万円です。**

取得した固定資産217百万円を「第1号基本金」に組み入れました。

(2) 「資金収支計算書」(表2) …企業会計では「キャッシュフロー計算書」に該当します。

**ア. 収入の部…2,076百万円の収入でした。**「学生生徒納付金収入」1,295百万円、「補助金収入」603百万円で、全体収入の91%を占めています。

**イ. 支出の部…2,196百万円の支出でした。**借入金返済支出は358百万円です。借入金等収入が114百万円でしたから、有利子負債は差引で△244百万円減少しました。

「事業活動収支計算書」(表1) 2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:千円)

	科 目	2022年度 予算	2022年度 決算	予算との差異	2021年度 決算	2021年度との差異	
		①	②	①-②	③	②-③	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,288,255	1,295,141	△ 6,886	1,453,455	△ 158,315
		手数料	10,670	10,912	△ 242	12,284	△ 1,372
		寄付金	8,750	10,213	△ 1,463	13,308	△ 3,094
		経常費等補助金	564,065	603,133	△ 39,068	608,480	△ 5,347
		国庫補助金	157,000	134,684	22,316	157,143	△ 22,458
		地方公共団体補助金	282,065	326,550	△ 44,485	317,397	9,153
		施設型給付費	125,000	141,899	△ 16,899	133,940	7,959
		付随事業収入	29,320	22,131	7,189	36,335	△ 14,204
		雑収入	58,473	102,670	△ 44,197	41,964	60,706
		教育活動収入計	1,959,533	2,044,200	△ 84,667	2,165,826	△ 121,627
	支出の部	人件費	1,069,795	1,082,906	△ 13,111	1,104,603	△ 21,697
		教員人件費	713,456	647,719	65,737	714,757	△ 67,038
		職員人件費	354,619	370,989	△ 16,370	358,768	12,221
		役員報酬	720	360	360	330	30
		退職金	1,000	63,839	△ 62,839	30,748	33,091
		退職給与引当金	0	0	0	0	0
		教育研究経費	669,566	643,752	25,814	651,399	△ 7,647
		(うち、減価償却額)	(204,650)	(190,616)	(14,034)	(190,998)	(△ 382)
		管理経費	202,752	216,304	△ 13,552	210,202	6,102
(うち、減価償却額)		(19,320)	(24,319)	(△ 4,999)	(22,057)	(2,262)	
徴収不能額等	1,000	0	1,000	0	0		
教育活動支出計	1,943,113	1,942,998	115	1,966,204	△ 23,206		
<b>教育活動収支差額</b>	<b>16,420</b>	<b>101,202</b>	<b>△ 84,782</b>	<b>199,622</b>	<b>△ 98,420</b>		
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金収入	133	75	58	76	△ 1
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	133	75	58	76	△ 1
	支出の部	借入金等利息	13,038	14,937	△ 1,899	16,541	△ 1,604
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	13,038	14,937	△ 1,899	16,541	△ 1,604		
<b>教育活動外収支差額</b>	<b>△ 12,905</b>	<b>△ 14,863</b>	<b>1,958</b>	<b>△ 16,465</b>	<b>1,602</b>		
<b>経常収支差額 (A)</b>	<b>3,515</b>	<b>86,340</b>	<b>△ 82,825</b>	<b>183,157</b>	<b>△ 96,818</b>		
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	838	39,195	△ 38,357	5,602	33,593
		施設設備寄付金	0	0	0	0	0
		現物寄付	838	1,911	△ 1,073	1,951	△ 39
		施設設備補助金	0	0	0	822	△ 822
		過年度修正額	0	39,195	△ 39,195	2,830	36,366
	特別収入計	1,000	39,195	△ 38,195	5,602	33,593	
	支出の部	資産処分差額	1,000	4,193	△ 3,193	878	3,316
		資産除却損	1,000	4,193	△ 3,193	878	3,316
		施設処分差額	0	0	0	0	0
その他の特別支出		0	4	△ 4	68	△ 64	
過年度修正額	0	4	△ 4	68	△ 64		
特別支出計	1,000	4,197	△ 3,197	946	3,252		
<b>特別収支差額 (B)</b>	<b>△ 162</b>	<b>34,998</b>	<b>△ 35,160</b>	<b>4,657</b>	<b>30,341</b>		
【予備費】 (C)	0	0	0	0	0		
<b>基本金組入前当年度収支差額 (A+B-C)</b>	<b>3,353</b>	<b>121,338</b>	<b>△ 117,985</b>	<b>187,814</b>	<b>△ 66,476</b>		
基本金組入額合計	△ 230,000	△ 217,167	△ 12,833	△ 267,590			
当年度収支差額	△ 226,647	△ 95,829	△ 130,818	△ 79,777			
前年度繰越収支差額	△ 6,795,622	△ 6,795,622	0	△ 6,715,846			
基本金取崩額	0	0	0	0			
翌年度繰越収支差額	△ 7,022,269	△ 6,891,451	△ 130,818	△ 6,795,622			
<b>(参考)</b>							
事業活動収入計	1,960,504	<b>2,083,470</b>	△ 122,966	2,171,504	△ 88,034		
事業活動支出計	1,957,151	<b>1,962,132</b>	△ 4,981	1,983,690	△ 21,558		
<b>経常収入計</b>	1,959,666	<b>2,044,275</b>	△ 84,609	2,165,902	△ 121,627		
<b>経常支出計</b>	1,956,151	<b>1,957,935</b>	△ 1,784	1,982,745	△ 24,810		

資金収支計算書（表2）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

（単位：千円）

収入の部				支出の部			
科目	予算 ①	決算 ②	差異 ①-②	科目	予算 ①	決算 ②	差異 ①-②
学生生徒等納付金収入	1,288,255	1,295,141	△ 6,886	人件費支出	1,069,795	1,082,906	△ 13,111
手数料収入	10,670	10,912	△ 242	教育研究経費支出	464,916	453,136	11,780
寄付金収入	8,450	9,680	△ 1,230	管理経費支出	183,432	189,639	△ 6,207
補助金収入	564,065	603,133	△ 39,068	借入金等利息支出	13,038	14,937	△ 1,899
資産売却収入	0	3,500	△ 3,500	借入金等返済支出	462,100	358,134	103,966
付随事業・収益事業収入	29,320	22,131	7,189	施設関係支出	74,968	85,700	△ 10,732
受取利息・配当金収入	133	75	58	設備関係支出	59,313	30,157	29,156
雑収入	18,473	116,008	△ 97,535	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	10,000	114,000	△ 104,000	その他の支出	235,800	87,967	146,229
前受金収入	163,000	140,260	22,740	資金支出調整勘定	△ 42,000	△ 107,862	65,862
その他の収入	31,000	6,033	23,363	翌年度繰越支払資金	381,579	883,047	△ 501,468
資金収入調整勘定	△ 223,500	△ 246,185	22,685				
前年度繰越支払資金	1,003,075	1,003,075	△ 0				
収入の部合計	2,902,941	3,077,762	△ 176,425	支出の部合計	2,902,941	3,077,762	△ 176,425

（3）「貸借対照表」（表3）

ア. 資産の部

前年度比△156百万円減少し、8,928百万円となりました。退職金財団交付金57百万円を含む未収入金が71百万円増加しましたが、建物等の減価償却（△214百万円）による減少がありました。

イ. 負債の部

前年度比△278百万円減少し、2,346百万円となりました。減少要因は、借入金△121百万円、学校債△123百万円等の減少、その他退職給与引当金△24百万円、前受金△30百万円等の減少によるものです。

ウ. 純資産の部（基本金＋繰越収支差額）

前年度末に比べ、121百万円増加し6,582百万円となりました。

2022年度 貸借対照表（表3）

2023年3月31日

（単位：千円）

資産の部				負債及び純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
資産	8,928,579	9,085,225	△ 156,646	負債	2,346,224	2,624,208	△ 277,984
固定資産	7,958,931	8,064,911	△ 105,980	固定負債	1,677,081	2,064,061	△ 386,980
有形固定資産	7,769,970	7,860,704	△ 90,735	長期借入金	1,053,996	1,175,330	△ 121,334
土地	3,373,568	3,373,568	0	学校債	422,200	663,900	△ 241,700
建物	3,450,647	3,551,837	△ 101,190	退職給与引当金	200,885	224,831	△ 23,946
その他の有形固定資産	945,755	935,299	10,456	流動負債	669,143	560,147	108,996
特定資産	120,000	120,000	0	短期借入金	81,334	81,334	0
その他の固定資産	68,961	84,207	△ 15,246	1年以内償還予定学校債	283,400	164,500	118,900
流動資産	969,648	1,020,314	△ 50,666	前受金	140,260	170,453	△ 30,193
現金預金	883,047	1,003,075	△ 120,028	その他の流動負債	164,149	143,860	20,289
未収入金	75,732	4,247	71,485	純資産	6,582,355	6,461,017	121,338
その他の流動資産	10,868	12,992	△ 2,123	基本金	13,473,806	13,256,639	217,167
				第1号基本金	13,340,806	13,123,639	217,167
				第4号基本金	133,000	133,000	0
				繰越収支差額	△ 6,891,451	△ 6,795,622	△ 95,829
合計	8,928,579	9,085,225	△ 156,646	合計	8,928,579	9,085,225	△ 156,646

#### (4) 「財産目録」(表4)

2022年度の「正味財産」(「資産総額」－「負債総額」)は、6,582百万円となり、前年度末の正味財産6,461百万円に対し、121百万円増加しました。また、有利子負債(「借入金」＋「学債」)は、前年度末2,085百万円に対し、本年度は1,841百万円となり、△244百万円を圧縮することができました。

財産目録 (表4)

科 目		2023年3月31日	
I. 資 産 額			
1. 基本財産			
	土地	127,396.32㎡	3,373,568千円
	建物	44,501.69㎡	3,450,647千円
	その他の基本財産		945,755千円
	基本財産 計		7,769,970千円
2. 運用財産			
	現金及び預金		883,047千円
	引当特定預金		120,000千円
	未収入金		75,732千円
	その他の運用財産		79,829千円
	運用財産 計		1,158,609千円
	資産総額		8,928,579千円
II. 負 債 額			
1. 固定負債			
	長期借入金		1,053,996千円
	学校債		422,200千円
	退職給与引当金		200,885千円
	固定負債 計		1,677,081千円
2. 流動負債			
	短期借入金		81,334千円
	1年以内償還予定学校債		283,400千円
	前受金		140,260千円
	その他の流動負債		164,149千円
	流動負債 計		669,143千円
	負債総額		2,346,224千円
III. 正味財産 (資産総額－負債総額)			
			6,582,355千円

#### (5) 監事の監査報告書

監事監査報告書	
令和5年5月23日	
学校法人 平安女学院	
理 事 会 御 中	
評 議 員 会 御 中	
監事 西山 伸一  監事 北峯 功三 	
<p>私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人平安女学院寄附行為第14条の規定に基づき、学校法人平安女学院の令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行について監査した。</p> <p>私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。</p> <p>監査の結果、学校法人平安女学院の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務若しくは財産に関する不正の行為、又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。</p>	

## 2. 財務状況の推移

### (1) 経常収支差額の推移

経常収支差額は、前年度比△97百万円減少しましたが、86百万円の黒字となりました。学生生徒等納付金と経常費等補助金の減少等により経常収入が△122百万円減少したものの、経常支出が人件費、管理経費の圧縮により△25百万円減少したことにより減少額は圧縮されました。

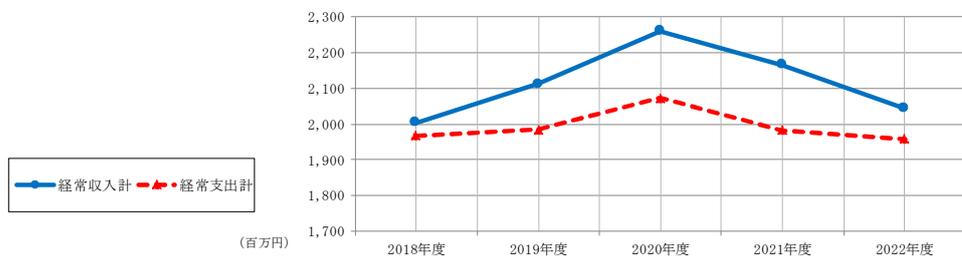
(単位：百万円)

科 目		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年比
教育活動収支	教育活動収入						
	学納金	1,332	1,401	1,493	1,453	1,295	△ 158
	寄付金	51	15	14	13	10	△ 3
	補助金	444	552	632	609	603	△ 6
	その他	177	144	122	91	136	45
	計	2,004	2,112	2,261	2,166	<b>2,044</b>	△ 122
	教育活動支出						
	人件費	1,093	1,066	1,173	1,105	1,083	△ 22
	教育研究費	652	692	682	651	644	△ 7
	管理経費	202	203	195	210	216	6
その他	0	1	1	0	0	0	
計	1,948 (178)	1,962 (194)	2,051 (202)	1,966 (213)	<b>1,943</b> (215)	△ 23 (2)	
教育活動収支差額	56	150	210	200	<b>101</b>	△ 99	
教育活動外収支	教育活動外収入	0	0	0	0	<b>0</b>	0
	教育活動外支出	20	22	21	17	<b>15</b>	△ 2
	教育活動外収支差額	△ 20	△ 22	△ 21	△ 17	<b>△ 15</b>	2
<b>経常収支差額</b>	<b>36</b>	<b>128</b>	<b>189</b>	<b>183</b>	<b>86</b>	△ 97	

(参考)

経常収入計	2,004	2,112	2,261	2,166	<b>2,044</b>	△ 122
経常支出計	1,968	1,984	2,072	1,983	<b>1,958</b>	△ 25

経常収支の推移



### (2) 主要財務比率の推移

(評価 = △ : 高い方がよい ▼ : 低い方がよい)

ほぼ全国平均±7%の範囲内指標に収まっています。±7%以上乖離しているのは、人件費依存比率 83.6%と流動比率 144.9%です。人件費比率は全国平均と大きな乖離はなく、流動比率の悪化は1年以内償還予定学校債が283百万円(前期比119百万円増加)あり、流動負債を大きくしたことが要因です。

比 率	算 式 (×100)	評価基準	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	令和2年度 全国平均 (医歯薬を除く)
人件費依存比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	82.1%	76.1%	<b>78.6%</b>	76.0%	<b>83.6%</b>	69.6%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	54.5%	50.5%	<b>51.9%</b>	51.0%	<b>53.0%</b>	51.8%
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	32.5%	32.8%	<b>30.1%</b>	30.1%	<b>31.5%</b>	35.2%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	10.1%	9.6%	<b>8.8%</b>	9.7%	<b>10.6%</b>	8.2%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収入計} - \text{経常支出計}}{\text{経常収入}}$	△	1.8%	6.0%	<b>8.3%</b>	8.5%	<b>4.2%</b>	4.6%
流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	△	211.3%	116.8%	<b>213.9%</b>	214.3%	<b>144.9%</b>	256.6%

## 4. 学校法人会計の概要と用語説明

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受ける学校法人は、「私立学校振興助成法」の定めにより「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出ることが義務づけられています。

「学校法人会計基準」に定められている計算書類は、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の3表です。また、「私立学校法」により、これらの他に「財産目録」、「事業報告書」を作成することと、中期経営計画の作成（2019年度より）が求められています。

### (1) 資金収支計算書…企業会計の「キャッシュフロー計算書」に類似します。

- ア. 「資金収支計算書」は、学校法人の当該年度（4月1日～翌年3月31日）の全ての収入と支出の内容ならびに支払資金（現金預金）の収入・支出の顛末を明らかにするものです。
- イ. 内訳として「資金収支内訳表」（学校法人、大学各学部別および大学計、高校、中学、こども園、総額の組織別資金収支を記載）、「人件費支出内訳表」（人件費について組織別に記載）の他、「活動区分資金収支計算書」を作成しています。
- ウ. 「活動区分資金収支計算書」では、「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」（借入金の収支等、主に財務活動）ごとに資金の流れを把握することができます。

### (2) 事業活動収支計算書…企業会計の「損益計算書」に類似します。

- ア. 「事業活動収支計算書」は、当該年度の収入と支出について、本業での収支を「教育活動収支」、その結果を「教育活動収支差額」、財務活動での収支を「教育活動外収支」、その結果を「教育活動外収支差額」、この2つの合計を「経常収支差額」として記載します。
- イ. この後に資産売却等の臨時的な収支を「特別収支」・その結果を「特別収支差額」、以上全ての収入と支出の差額を「基本金組入前当年度収支差額」として記載します。さらに、「基本金組入額合計」、「当年度収支差額」、「前年度繰越収支差額」、「翌年度繰越収支差額」と長期の収支バランスを示す項目が続きます。
- ウ. 脚注には、「事業活動収入計」（教育活動収入＋教育活動外収入＋特別収入）、「事業活動支出計」（教育活動支出＋教育活動外支出＋特別支出）を記載します。

### (3) 貸借対照表…年度末における財政状態を表したものです。

- ア. 学校法人の資産に対する負債（他人資本）と純資産（基本金＋繰越収支差額（翌年度繰越収支差額））（自己資本）の額を明らかにします。
- イ. 基本金は、学校法人がその諸活動に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業収入の内から組入れた金額です。

第1号基本金	取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産に充てるために、事前に計画的、段階的に積み立てる金銭その他の資産の価額
第3号基本金	奨学基金等として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他資産の価額
第4号基本金	恒常的に保有すべき資金

### (4) 財産目録…貸借対照表の資産や負債の具体的内容を表したものです。

学校法人が所有する土地や建物の面積、図書の数などを知ることができます。また、財産目録は、「基本財産」（私立学校に必要な施設および設備またはこれらに要する資金）と「運用財産」（私立学校の経営に必要な財産）に区分して記載することになっています。

## Ⅵ 第3次中期経営計画（2020年度～2024年度）と実績

### 1. 2022年度実績と中期経営計画および前年度との比較

(単位：百万円)

	2022年度 中計 ①	2022年度 実績 ②	中計比 ②－①	2021年度 実績 ③	前年度比 ②－③
学生生徒等納付金	1,420	1,295	△125	1,453	△158
経常費等補助金	481	603	122	608	△5
その他収入	113	146	33	105	41
教育活動収入計	2,014	2,044	30	2,166	△122
人件費	1,029	1,083	54	1,105	△22
教育研究費	733	644	△89	651	△7
管理経費等	225	216	△9	210	6
教育活動支出計	1,987	1,943	△44	1,966	△23
教育活動収支差額	27	101	74	200	△99
教育活動外収入計	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	16	15	△1	17	△2
教育活動外収支差額	△16	△15	1	△17	2
経常収支差額	11	86	75	183	△97
在学学生生徒総数	1,489	1,404	△85	1,530	△126
有利子負債期末残	1,953	1,841	△112	2,085	△244

#### < 学生生徒総数 >

(単位：人)

	2022年度 中計④	2022年度 実績⑤	中計比 ⑤－④	2020年度 実績⑥	前年度比 ⑤－⑥
国際観光学部	440	397	△43	419	△22
子ども教育学部	268	230	△38	249	△19
(大学計)	(708)	(627)	△81	(668)	△41
短期大学部 保育科	—	—	—	46	△46
高等学校	493	454	△39	480	△26
中学校	153	190	37	205	△15
(中高計)	(646)	(644)	△2	(685)	△41
附属こども園	135	133	△2	131	2
学生生徒総数	1,489	1,404	△85	1,530	△126

#### (1) 学生・生徒数

学生生徒総数は、1,404名で中期経営計画比△85名、前年度比△126名と新型コロナウイルス感染

症の影響における海外留学の規制、航空・鉄道・旅行・観光業界の採用抑制等、国際と観光の学びを標榜する国際観光学部が引き続き影響を受け厳しい結果となりました。

## (2) 事業活動収支計算書の経常収支差額

学生生徒数が中期経営計画数字を割り込んだため、学生生徒納付金は、計画比△125百万円の未達となりましたが、修学支援金制度による奨学金が補助金として59百万円上積みされ、経常費等補助金は計画を122百万円上回り経常収入を支えました。

経常支出は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け海外留学が抑制されたこと等により、支出が減少しました。

結果、経常収支差額では、86百万円（計画比75百万円増加）と黒字を確保しております。

## 2. 課題に対する成果

### (1) 子ども教育学部の学生確保は横ばい。国際観光学部も厳しい状況続く。

子ども教育学部の入学生は2022年度51名（平安女学院高校からの進学者19名：受験生32名）、2023年度55名（平安女学院高校からの進学者29名：受験生26名）となりました。

平安女学院高校からの進学者を除くと実質は減少となっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受けている国際観光学部の入学生は2022年度54名、2023年度40名と厳しい状況が続きました。

### (2) 耐震工事で増加した有利子負債の圧縮

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
金融機関	1,630	1,460	1,257	1,135
学校債	928	834	828	706
計	2,558	2,294	2,085	1,841
前年度比	△329	△264	△209	△244

金融機関借入の繰上げ返済40百万円を行い、2021年度学校債の金利見直しによる効果もあり、約定返済を含めて前年度比△244百万円の減少となりました。

## 3. 新たな課題と対応

(1) 本年度（2022年度）から、定員管理の厳格化施策が入学定員充足率から収容定員充足率に変更となったことにより、入学生が大規模・中規模大学にシフトし、その分小規模大学は総じて苦戦することになりました。

本学では、これに対し次の対応をしています。

- (ア) 国際観光学部では、留学生の受入れおよび通信教育学校の開拓による学生数の確保
- (イ) 子ども教育学部では、子ども心理コース、中学英語教職免許コースの縮小と伝統の幼保教員陣の拡充
- (ウ) 大学入学センターの専門分野別人材の補強

(2) 来年度から、高等教育の修学支援新制度において、「財務に関する要件」「収容定員に関する要件」のいずれかが未充足であった場合、制度の対象外となることに変更となります。

本学では、これに対し次の対応をします。

- (ア) 財務面では、一部不動産の売却を検討
- (イ) 収容定員に関する要件については、就職率を90%確保する事による1年毎の猶予規定があるため、就職先の開拓等安定して就職率90%以上を確保できる就職支援体制を構築

以上

## 2022年度事業報告書

発行日 : 2023年5月24日

発行 : 学校法人 平安女学院  
京都市上京区室町通榎木町上る武衛陣町 221  
電話 075 (414) 8155  
<http://www.heian.ac.jp>

編集 : 学校法人平安女学院 法人事務局

